

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.55

2023 1月-3月

2023 1/10 発行

TAKE FREE

謹賀
新年
2023



WIEN PREMIUM CONCERT

Sinfonia

シンフォニア

ウィーン・プレミアム・コンサート



フルート エルヴィン・クランバウアー



ヴァイオリン フォルクハルト・シュタイデ



ピアノ 小菅 優



オーボエ ベルンハルト・ハインリヒス



管弦楽 トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン

- 02 ウィーン・プレミアム・コンサート
04 The Symphony Hall Super Brass
06 2023年はプラスが熱い! Osaka Shion Wind Orchestra & The Symphony Hall Super Brass 2023年度スケジュール
08 BLACKOUT/WHITEOUT #1
山口和也「絵画というリサイタル」～筆音で奏でられた絵画たち～
09 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ Vol.18
10 広島交響楽団 第432回定期演奏会 大阪公演
12 ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルス
～メンデルスゾーンへの旅
(名曲シリーズ)大阪フィル×ザ・シンフォニーホール
13 ソワレ・シンフォニーVol.21&Vol.22
14 ラフマニノフ生誕150周年 熱狂コンチェルト
16 三浦一馬 五重奏団《PIAZZOLLA Standards & Beyond》
17 The Symphony Hall Big Band Vol.19～タンゴ・タンゴ・タンゴ～
18 川井郁子 ドラマティックコンサート with オーケストラ響～ひびき～
19 特級グランド・コンチェルト
20 堤 剛 80歳記念チェロ・リサイタル
22 The Symphony Hall×関西4オーケストラ
2023 New Season Message
24 ABCテレビ主催公演・イベント情報
28 日本センチュリー交響楽団
30 山形交響楽団 さくらんぼコンサート2023 大阪公演
31 早稲田大学交響楽団 110周年記念 大阪特別公演
32 堀江政生のシンフォニア・アワー Vol.55
33 小味渕彦之「こみちゃんの温故知シン」Vol.1
34 ホールトピックス
35 Concert Calendar 2023.1～2023.3

1月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する1月21日(土)～1月29日(日)の期間は、「お電話」と「窓口」の営業時間を10:00～18:00とさせていただきます。※上記以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00～16:00(火曜定休)とさせていただきます。

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休)
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。
詳細はホームページをご確認ください。

●WEB:<https://www.symphonysinfonia.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録
ザ・シンフォニーホール ホームページ
<https://www.symphonysinfonia.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録
定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3
ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。「@symphonysinfonia.jp」をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に厳格に遵守して管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送(3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡(4)ザ・シンフォニーホールでの催事・企画・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡(6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報も、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報と安全管理されるよう適切に監督します。

●表紙「カウントダウンコンサート 2022-2023&ニューイヤーコンサート 2023」

The Symphony Hall

へご来場のお客様へ

引き続き、感染症拡大防止対策へのご協力をお願い致します。

お客様へのお願い

マスク着用



館内では上演中も含め、常時マスクの着用をお願い致します。

体温測定



サーモグラフィーや検温器により、発熱の症状がある方はご入場をお断りさせていただく場合がございます。

手洗い・手指の消毒



こまめな手洗い、手指の消毒による感染予防をお願い致します。

体調確認



発熱や咳、咽頭痛などの症状および倦怠感や息苦しさがある方など、体調に不安がある方はご来場をお控えください。

館内はお静かに



大きな声での声援や、館内での会話はお控え下さい。

ご自席でのご鑑賞



他のお客様のお座席や、使用していないお座席へのご移動は、固くお断り致します。

アンコール曲の掲示

お客様の密集を防ぐため、アンコール曲は会場内に掲示せず、ザ・シンフォニーホールのTwitterでお知らせ致します。ぜひチェックしてください。



おかげさまで40周年

クラシック音楽ファンの皆様、The Symphony Hall Sinfonia会員の皆様

新年あけましておめでとうございます。

2022年度も残すところ後3カ月、私達、The Symphony Hallにとりましては開館40周年という大変重要な年度を終えようとしております。

2012年、The Symphony Hall30周年の年にこのホールをお預かりして10年。私達のスタッフが目を三角にして開業した日を昨日の事の様に思い出します。

The Symphony Hall。この大切な大阪の文化をこれからも50年、100年と未来に継承して参れるよう、又、このホールを愛して下さるクラシック音楽ファンの皆様、国内外からお集まり頂く演奏者の皆様にとりまして、特別な場所として在り続けますよう、スタッフ一丸となって精進を続けて参ります。

コロナ、コロナと大変な3年間でした。2023年が皆々様にとりまして素晴らしい1年になりますよう心からお祈り申し上げます。

本年2023年もThe Symphony Hallで唯一無二の素晴らしい時間をお過ごし下さい。

株式会社ザ・シンフォニーホール

代表取締役社長:田中豊徳 取締役GM・音楽総監督:喜多弘悦

館長:三上正弘 館長代理:坂上弘志 顧問:山上明美 顧問:喜多静一郎

スタッフ一同



The Symphony Hall

ウィーン音楽 3つの奇跡!

開催から20周年を迎えたトヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン。
今回は「3つの奇跡」と題して3種類のプログラムを披露する。

- プログラムAは《「あの」ウィンナワルツを日本で聴く奇跡》
- プログラムBは《指揮者なしのベートーヴェンの奇跡》
- プログラムCは《一夜限りのロマンティックな奇跡》

ザ・シンフォニーホールでの大阪公演は、プログラムB《指揮者なしのベートーヴェンの奇跡》。30名の精鋭によるダイナミックな演奏を、そしてスペシャルな共演者による演奏をお楽しみいただきたい。

あるフォルクハルト・シュトイデが、コンサートマスター席から、オーケストラをリードし、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」やピアノ協奏曲第3番などの名曲を奏でる。

今回のトヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンには、シュトイデのほか、2018年のウィーン・フィル来日公演でのブラームスのヴァイオリンとチェロのため

春を彩る極上のウィーン音楽の世界

の二重協奏曲でシュトイデとともに独奏を務めたチェロのペーテル・ソモダリ、ウィーン・フィルホルン奏者ロナルド・ヤネツィック、ウィーン・フィルトランペット奏者ステファン・ハイメルら、ウィーン・フィルの主力奏者たちが参加する。

ウィーンで活躍したベートーヴェンの作品は、ウィーン・フィルのメンバーにとっては、十八番のレパートリー。指揮者なしでもまったく問題がないどころか、指揮者がいないことによって、名手たちが自発的に繰り広げる室内楽的なアンサンブルが満喫できるに違いない。そして、ウィーンの伝統あるホールを想起させる、典雅な響きを聴かせてくれるだろう。ウィーンの音楽家たちが信頼を寄せるシュトイデは、1971年ライブツィヒに生まれ、ウィーンで元ウィーン・フィル奏者であるアルフレート・シュターに師事した。1994年、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任。2000年からウィーン・フィルのコンサート

ウィーンの伝統あるホールを想起させる、典雅な響きを聴かせてくれるだろう



フルート エルヴィン・克蘭パウアー



オーボエ ペルンハルト・ハインリヒス



ピアノ 小菅 優



©Andrej Grilo

ウィーン・プレミアム・コンサート 指揮者なしのベートーヴェンの奇跡 特別協力:ウィーン国立歌劇場

管弦楽 トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン



©Ayumi Kakamu

協奏曲演奏も手掛けていて、指揮者なしのオーケストラとどんなコラボレーションを繰り広げるのか、興味津々である。

コンサートのオープニングはバッハの管弦楽組曲第2番。フルーが協奏曲のように活躍するこの曲では、ウィーン交響楽団フルート奏者のエルヴィン・克蘭パウアーが独奏を務める。そのほか、シュトイデとチューリッヒ歌劇場管弦楽団オーボエ奏者ペルンハルト・ハインリヒスの独奏で、バッハのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲が演奏される。シュトイデは、バッハゆかりのライブツィ



©Eriko Inoue

ヒの生まれだけに、バッハへの思いも深い。

4年ぶりの開催となるトヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンの「ウィーン・プレミアム・コンサート」に心がはずむ。

(文 山田治生)

トヨタが贈るウィーン音楽の極み

トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンとは、ウィーン・フィルとウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に、本公演のために特別に編成された世界最高レベルの室内オーケストラ。ウィーン・フィルのコンサートマスターであるフォルクハルト・シュトイデ芸術監督のもと、指揮者なしだからこそ奏でられる絶妙なアンサンブルと自由自在な音楽性、さらに全員が精鋭メンバーゆえのダイナミックな演奏が特長。トヨタは、音楽の感動をより多くの方々に届けるために、2000年より社会貢献活動として本コンサートを開催している。

今年もウィーン・フィルの主力奏者たちが参加

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やウィーン国立歌劇場管弦楽団のメンバーを中心に特別編成されている30名のオーケストラ、トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン・フィルの「ウィーン・プレミアム・コンサート」が、4年ぶりに開催される。2000年に始まったこのコンサートは、コロナ禍による中断があったが、ほぼ毎年、全国各地で開催され、春を彩る恒例の演奏会となっている。

今回のコンサートでは、ウィーン・フィルのコンサートマスターであり、トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン・フィルの芸術監督で

【管弦楽】トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン

【ヴァイオリン】フォルクハルト・シュトイデ 【ピアノ】小菅 優

【フルート】エルヴィン・克蘭パウアー 【オーボエ】ペルンハルト・ハインリヒス

発売中

J.S.バッハ「管弦楽組曲 第2番 短調 BWV1067(フルート独奏/エルヴィン・克蘭パウアー)/ベートーヴェン「ピアノ協奏曲 第3番 短調 op.37(ピアノ独奏/小菅 優)」/J.S.バッハ「オーボエとヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1060(オーボエ独奏/ペルンハルト・ハインリヒス、ヴァイオリン独奏/フォルクハルト・シュトイデ)/ベートーヴェン「交響曲 第5番 短調「運命」 op.67

2023.4/10(月) 7:00PM

全席指定 S 8,500円 A 6,500円 B 5,000円 ハッピーシート(22歳以下、B席のみのお取り扱い) 2,000円 (税込)

【お問い合わせ】大阪アーティスト協会 06-6135-0503

※ザ・シンフォニー チケットセンターでは、ハッピーシートはお電話のみのお取り扱いとなります。

【主催】トヨタ自動車株式会社

「The Symphony Hall Super Brass」指揮者の喜多弘悦にインタビュー！



【Q】 これまでになくとも面白い斬新なコンサートですね。本シリーズ企画のきっかけは？

【A】 元々、私も中学生の時に吹奏楽部に入ったのが音楽家になった入口。その後、オーケストラの仕事もしましたが、器楽の入口は吹奏楽の人も多いと思います。一人でも多く、「初めて器楽を聴く人に分かりやすく、感動を伝える事が出来るステージを作りたい」と、ずいぶん前から、「オオサカシオン・ウインド・オーケストラ」の石井理事長と練っていた企画です。

音楽はUnderstand(理解する)ものと思われがちです。それをJOY(楽しみ)に変えていきたい。だから、演奏する曲は、「初めて聞いても分かりやすい」、「あれ、どっかで聴いた事がある」、「楽しい！」、「元氣が出る！」、そんな曲を集めました。

【Q】 コロナ禍を超えて、ようやく規制も緩和されコンサートも増えてきましたが、スーパーブラスの手応えはいかがですか？

【A】 びっくりするくらい！多くの人に来場してもらえて、感謝！感謝！です。

舞台上のプレーヤーも、あれ程の大人数の編成にも関わらず、音を合わせ、息を合わせ、心を合わせて、素晴らしい演奏をしてきています。

「関西音楽界の底力を発揮できるコンサートが誕生しました！」

【Q】 コロナ禍だからこそ成しえた新たなブラスパンドというわけですね。

【A】 音楽家も音大を出て、プロになって、突然毎日舞台に出られる訳ではありません。吉本の芸人さんと同じで下積みを経験して、徐々に真のプロフェッショナルに成長していきます。そんな中、コロナに襲われて、舞台がなくなり、演奏者は演奏者としてのアイデンティティを失いつつありました。彼らは、関西の未来へ大切な音楽を繋ぐ宝物です。ザ・シンフォニーホールは、そんな彼らに仕事を作り、舞台を作り、凛とした音楽家として活躍してもらえ、場を提供することが、関西・大阪の文化・芸術の振興に欠かせない重要な役割だと考えています。

そして、来場して頂いた皆さんの拍手が彼らに大きな勇気と希望を与えてくれるのです。



【Q】 ずばり、「ザ・シンフォニーホール スーパー・ブラス」の魅力は？

【A】 本シリーズでは、プロジェクションマッピングによるイルミネーションのような演出、迫力のサウンド、どれを取ってもこれまでにない全く新しいコンサートで、魅力はたっぷりあります。

それにも増して出演者と来場者が、お互いの想いを《繋ぐ》、《繋がる》、そんなあたかい雰囲気溢れるコンサートです。是非、ご来場の皆さんと共に、そんな心の繋がる瞬間を共有できれば、と願っています。

喜多弘悦(株式会社ザ・シンフォニーホール取締役ゼネラルマネージャー・音楽総監督、滋慶学園COMグループ音楽系副校長、一般社団法人日本クラシック音楽事業協会副会長、公益社団法人大阪市音楽団理事)

【指揮・お話】 **喜多弘悦**
【演奏】 **The Symphony Hall Super Brass**

映画「スター・ウォーズ」/「ロッキー」/「ミッション・イン・ポッシブル」/「パイレーツ・オブ・カリビアン」/「ハリー・ポッター」ほかから ※プロジェクションマッピング付き

ブラスdeシネマ ～ド派手に格好よく！

2023.5/20(土) 3:00PM

大人6,600円 小人3,300円(4歳～18歳)

【お問合せ】 大阪アーティスト協会 **050-5510-9645**

【主催】 ザ・シンフォニーホール

1月23日発売開始

【指揮・お話】 **喜多弘悦**
【演奏】 **The Symphony Hall Super Brass**

交響組曲「風の谷のナウシカ」3章/交響組曲「もののけ姫」/「ラピュタ」～キャッスル・イン・ザ・スカイ～/「となりのトトロ」～コンサート・バンドのためのセレクション～/スピリティッド・アウェイ「千と千尋神隠し」ほか ※プロジェクションマッピング付き

ブラスdeアニメ ～ジブリ名曲コンサート～

2023.3/8(水) 7:00PM

大人6,600円 小人3,300円(4歳～18歳)

【お問合せ】 大阪アーティスト協会 **050-5510-9645**

【主催】 ザ・シンフォニーホール

発売中

話題のプロジェクションマッピング付き！



The Symphony Hall Super Brass ザ・シンフォニーホール スーパーブラス Shid! × The Symphony Hall

まだ観たことがない、そのあなた！
壮大なプロジェクションマッピングと共に繰り広げられる圧巻のブラスサウンド!!
話題の「ザ・シンフォニーホール スーパーブラス」の魅力に迫る!!!

『ザ・シンフォニーホール スーパーブラス』は、「オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ」と「ザ・シンフォニーホール」の共同企画により、2022年7月に始動したばかりで、関西で活躍する精鋭メンバーが結集した出来立てホヤホヤのブラスパンドとして話題を集めています。

プロジェクションマッピングによる壮大なイルミネーションのような映像で演出するステージが、一番の魅力で、五感を刺激するエキサイティングなエンターテインメント・ショーとしてザ・シンフォニーホールのこれまでにない新時代のコンサートスタイルを築いています。

《めっちゃ楽しく》そして《ド派手に》をモットーに、年間4公演を予定し、クラシックだけでなく、ポップス、アニメ、ミュージカル、映画等、あらゆるジャンルの音楽をレパートリーとし、どの世代にも愛される唯一無二のブラスパンドを目指しています。

今年3月は《ブラスdeアニメ》、5月は《ブラスdeシネマ》と、次々とシリーズの開催が決まっています。

3月8日の《ブラスdeアニメ》～ジブリ名曲コンサート～では、みんな大好き！ジブリ音楽を集めてお届けします。広く愛されているジブリの音楽は、デイズ二と並んで器楽用に良い編曲をされているものが多く、重厚で精密な「ザ・シン

フォニーホール スーパーブラス」のサウンドにびつたりといえるでしょう。

5月20日の《ブラスdeシネマ》～ド派手に格好よく！～では、昨年大好評を頂いた映画「スター・ウォーズ」、「ロッキー」、「ミッション・イン・ポッシブル」、「パイレーツ・オブ・カリビアン」、「ハリー・ポッター」などに加え、新たな映画音楽のレパートリーも織り交ぜてお届けします。

また、感受性溢れる4歳以上の小から入場できるのも魅力の一つで、「二世代、三世代と、是非ともファミリーでお楽しみ頂きたいザ・シンフォニーホールのイチ押しコンサートとなっております。

楽しいトークも交えながらのアットホームな雰囲気の中、喜多弘悦のタクトで繰り広げられる圧巻のブラスサウンドと共に、大スペクタクルのプロジェクションマッピングを、あなたも是非一度は味わってみて下さい。

40周年を迎えた今、ザ・シンフォニーホールは、あらゆる世代に楽しんでもらえるコンサート創りを目指して、これからも新しい試みを取り入れながら、チャレンジし続けます！

「さあ、まだ観たことのない、そのあなた！」

あなたも、【視覚】×【聴覚】、さらに【身体全体】に響きわたるブラスサウンドの虜になってみませんか？

指揮:喜多弘悦



おかげさまで

Shidō

100
周年

2023年度は ブラスが熱い!

吹奏楽オリジナルプログラムで挑む!! Osaka Shion Wind Orchestra 100th

めっちゃ楽しく! ド派手! に迫る!! The Symphony Hall Super Brass

Osaka Shion Wind Orchestra

(公益社団法人 大阪市音楽団)

今年は定期演奏会6公演と
100周年記念特別演奏会
《バーンズ・チクルス》を加えた
計9公演を開催!

《2023年度 スケジュール》

10月

Osaka Shion Wind Orchestra 特別演奏会 指揮:ジェイムズ・バーンズ

《バーンズ・チクルス》Vol.3

2023年10月2日(月) 7:00pm

J.バーンズ: 交響曲第8番作品148、交響的葬送曲(交響曲第7番)作品135

Osaka Shion Wind Orchestra 第150回定期演奏会 指揮:ジェイムズ・バーンズ

《バーンズ・チクルス》Vol.4

2023年10月8日(日) 2:00pm

J.バーンズ: 交響曲第9番作品160、交響曲第3番作品89

11月

Osaka Shion Wind Orchestra 第151回定期演奏会

指揮:齊藤一郎

2023年11月25日(土) 2:00pm

P.ヒンデミット~K.ウィルソン編曲: ウェーバーの主題による交響的変容/

J.バーンズ: パガニーニの主題による幻想変奏曲/伊藤康英: 古いスペインの歌によるディフェレンシアス/

B.マーゴリス: テルプシコーレ

12月

The Symphony Hall Super Brass

「スーパーブラス+The SOULMATICSGOSPEL」

指揮:喜多弘悦 ゴスペル:池末信×THE SOULMATICSGOSPEL

2023年12月30日(土) 3:00pm

1月

Osaka Shion Wind Orchestra 第152回定期演奏会 指揮:ダグラス・ボストック

2024年1月28日(日) 2:00pm

グレインジャー: リンカンシャの花束、ローマの権力とキリスト教徒の心、マーチング・ソング・オブ・デモクラシー、

行進曲「ワムフレイの若者たち」、子供のマーチ「丘を越えて彼方に」、コロニアル・ソング、スプーン・リバー、岸辺のモリ

2月

The Symphony Hall Super Brass

「ブラスdeミュージカル」~ハッピー・バレンタイン♡

指揮:喜多弘悦

2024年2月14日(水) 7:00pm

3月

Osaka Shion Wind Orchestra 第153回定期演奏会 指揮:宮川彬良(音楽監督)

2024年3月23日(土) 2:00pm

宮川彬良: 音楽劇「ハムレット」より「5つの主題」、音楽劇「身毒丸」より、

祝祭音楽劇「天保十二年のシェイクスピア」より



4月

Osaka Shion Wind Orchestra 第148回定期演奏会

指揮:現田茂夫

2023年4月23日(日) 2:00pm

大栗裕: 大阪俗謡による幻想曲

N.ヘス: イースト・コーストの風景

J.デイヴィッド: 交響曲第1番「悪魔の聖書」(ギガス写本)

5月

The Symphony Hall Super Brass

「ブラスdeシネマ」~ド派手に格好よく!

指揮:喜多弘悦

2023年5月20日(土) 3:00pm

6月

Osaka Shion Wind Orchestra 第149回定期演奏会

指揮:秋山和慶(芸術顧問)

2023年6月4日(日) 2:00pm

P.メニン: カンツォーナ

C.ウィリアムズ: ザ・シンフォニアンズ、交響組曲

S.スクロヴァチェフスキ: ミュージック・フォー・ウィンズ

F.エリクソン: 序曲「祝典」、交響曲第3番

8月

The Symphony Hall Super Brass

「ブラスdeアニメ」~夏休み! ディズニー特集

指揮:喜多弘悦

2023年8月20日(日) 3:00pm

9月

Osaka Shion Wind Orchestra 特別演奏会

指揮:ジェイムズ・バーンズ

《バーンズ・チクルス》Vol.1

2023年9月16日(土) 2:00pm

J.バーンズ: 交響曲第6番作品130、交響曲第1番作品35(改訂版世界初演)、交響曲第2番作品44

Osaka Shion Wind Orchestra 特別演奏会

指揮:ジェイムズ・バーンズ

《バーンズ・チクルス》Vol.2

2023年9月24日(日) 2:00pm

J.バーンズ: 交響曲第4番作品103b「イエローストーン・ポートレート」、交響曲第5番作品110「フェニックス」



©Orgen_Axelvall



©Daisuke



©K.Miura



山口和也「絵画というリサイタル」～筆音で奏でられた絵画たち～



動画：BLACKOUT/WHITEOUT #0

BLACKOUT/WHITEOUT

世界がパンデミックに陥って間もない2020年7月、私はロームシアター京都メインホールを舞台として、世界が初めて直面したこの静寂を、ブラックアウト(暗の彼方)とホワイトアウト(光の彼方)という、視覚を抛り所とできない空間として二日間に渡って演出し、そのステージの只中へ描くものを持たずに一人の画家として自身を置いてみました。それは宇宙空間における個の存在を象徴するようであり、薄暗く横たわる観客のいない客席の前に、私は自身を取りまく全てと呼应しながら立ち現れる衝動を、舞台上に設置された9枚のキャンバスへと刻んでいきました。その筆跡は音となってホールに小さく響いたあと闇や光の彼方へと消えていきます。舞台を降りたあとには、その軌跡が刻まれた痕跡(絵画)が残りました。闇や光の中で一人ナニモノカと呼応する中で生まれ出ずる線たちは視覚的に何かを描こうとしたものではなく、その音たちは演奏を目的としたものではありませんでした。それは音楽や絵画という言葉が誕生する以前の「はじまり」へのアプローチであり、また私たちがこの世に誕生してから去るまでの「生きること」そのもののようでもありました。今を生きる一人一人が孤高でありかけがえない存在であるということ。終えてみると、その核心が音にあることを知らされた私は「リサイタル BLACKOUT/WHITEOUT

(以下 B/W) #0」とこの舞台を名付けました。2024年ザ・シンフォニーホールにて、このリサイタル B/W の開催を予定しております。

絵画というリサイタル

リサイタル B/W の舞台で生まれた筆音の痕跡たちを額装して絵画として再び舞台上へ展示し、それらの産声である録音された筆音と共にご覧いただく展覧会が「絵画というリサイタル」です。本展では2021年3月におこなったリサイタル B/W #1で描かれた計18点の絵画をご覧いただきます。あたかも先史時代の洞窟に足を踏み入れたかのような空間で、生命の鼓動へと耳を澄まし、古典から更なる原初へ誘うこの旅は、クラシック音楽の殿堂ザ・シンフォニーホールを会場とすることに意味があります。現在これまでのリサイタル B/W で描かれた全36点の絵画をまとめた作品集を制作しており、3月13日に皆様へお披露目したいと考えております。

(美術家 山口和也)



山口和也 Website

BLACKOUT/WHITEOUT #1

★1/10発売開始

山口和也「絵画というリサイタル」

～筆音で奏でられた絵画たち～

* 本催しは、絵画をご覧いただく展覧会です

* 毎時00分に作家挨拶あり

2023.3/13(月)2:00PM～8:00PM(※随時入場可)

前売1,000円 当日1,500円

★特別前売券 3,000円 (B/W#0 全18作品ポストカード 3,000円付)

前売=ザ・シンフォニーホール(窓口のみ)/Peatix

協力=ザ・シンフォニーホール、アーツサポート関西

主催・お問合せ=空花(くうか) 075-201-5125



美術家 山口和也 【略歴】

瞬間の彼方にある永遠性を描き出す美術家。一人の音楽家としての即興で描かれる『KAKI AIKKO』で関口芸術基金賞(TAMON賞)グランプリを受賞。副賞として滞在したニューヨークで日本画家千住博の依頼を受けて二冊の写真集を刊行。2008年からはボクサー辰吉丈一郎の撮影を継続している。近作に一休禅師を開祖とする大徳寺真珠庵本堂の襖絵「空花」、自ら山へ入って採取した雁皮と山の湧水を用いた紙漉きからはじまる『A piece of the universe』、故郷の土で茶碗を焼く「高砂焼」、アルマーニ銀座タワーリニール記念スペシャルイベントでのライブペインティングなどがある。

0歳児からの光と映像で楽しむ オーケストラ Vol.18



管弦楽 大阪交響楽団

プロジェクションマッピング付きだから
見て聴いて楽しい!!

ゲスト 横山だいすけ



いっぱい歌って、踊って、
笑って、泣いて!
お子様を夢中にさせる
コンサート!

子供たちの瞳が
一瞬にしてキラキラ

大阪交響楽団とザ・シンフォニーホールが企画する「0歳から楽しめる」このコンサートシリーズの次回が、5月に開催されることと決定! ザ・シンフォニーホールのステージに「だいすけお兄さん」の愛称でお馴染みの横山だいすけが再び登場します!
このコンサートは、0歳児のお子様からファミリーみなまでオ



日曜日のお昼♪ファミリーで楽しもう!

ケストラの生演奏とプロジェクションマッピングの煌びやかな演出を楽しむことで、2014年のスタートから人気を博しています。

前回、昨年9月に開催されたシリーズでは、横山だいすけがゲストとして初登場。ホールに集まった子供たちの瞳を一瞬にしてキラキラと輝かせ、子供だけでなく大人のハートまでもキャッチした歌とお話のパフォーマンスは、大好評を博しました。

今回のプログラムは、ロッシーニの歌劇「ウィリアム・テル」よ

り序曲、エルガー「威風堂々」などのクラシック音楽から、大盛り上がり必至の「ぼよん行進曲」など、だいすけお兄さんの歌もたっぷりといずれも歌って、踊って(もちろん泣いてもOK!)思いのままに楽しめよう。だいすけお兄さん、指揮の松元宏康、大阪交響楽団、全員の息もぴったりで、終始お子様が夢中になれるステージが、皆様を待っています。

なお、今回はファミリーにうれしい日曜日お昼のコンサート! 前と午後の2回公演で開催します。どうぞお見逃しなく!

[ゲスト]横山だいすけ [指揮]松元宏康 [管弦楽]大阪交響楽団

ロッシーニ:歌劇「ウィリアム・テル」より 序曲「スイス軍の行進」★/アンダーソン:フィドル・ファドル/中西圭三:ぼよん行進曲/エルガー:威風堂々 第1番より ★ ほか
★=プロジェクションマッピングつき

2023.5/7(日) 午前の部11:00AM/午後の部2:00PM

全席指定 4,000円(税込/大人・子供均一料金)

※乳幼児のお子様も(お膝の上でも)必ず座席券をご購入ください。

[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催]公益社団法人大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール

先行予約:1月21日(土) 一般発売:1月22日(日)



広響のメンバーは、大阪公演をいつも心待ちにしているという。

「ザ・シンフォニーホールは、日本で初めての音楽専用の大ホールです。当時の僕は大阪で演奏活動をやっていた時期で、まさに憧れのステージでした。広響にとってのも憧れのステージであることには

とになりました」

6月の演奏会では、ブラームス《ヴァイオリン協奏曲》のソリストもシュトイデ氏が務める。

「この作品では、広響のコンサート

ベートーヴェン《交響曲第7番》を選んだ理由について、

「いままで、ベートーヴェンの交

「この作品では、広響のコンサート

ベートーヴェン《交響曲第7番》を選んだ理由について、

「いままで、ベートーヴェンの交

ベートーヴェン《交響曲第7番》を選んだ理由について、

「いままで、ベートーヴェンの交

2023年はブラームス生誕190年の記念の年でもある。

「ブラームスの《ヴァイオリン協奏曲》については、シュトイデさん

との共演をずっと思っていたいま

したが、彼がこの曲を指揮者なし

で演奏するのは非常に難しいと

おっしゃっていたのです。今回、

創立60周年という特別な年です

のでぜひブラームスに挑戦してほ

しいとオファーしたところ、時間

要しましたが、受けていただくこ

とになりました」

響曲では、シュトイデさんとは第5番、第6番、第8番を共演しています。第7番をまだ共演していないのが理由のひとつです。それから、広響は今年度がプロ化50年で、とても挑戦的なプログラムに取り組んでいます。ですので、来年度の創立60周年をお客さまにも一緒に祝っていただきたく、名曲をたくさん取り入れています。第7番はそのような流れを汲んだ選曲です」

間違った演奏でし、日本で最初にできたこの伝統ある音楽専用ホールで演奏できることに勝る喜びはありません」

す。彼にとっても、広響は特別なパートナーとして捉えていただいていると思います。例えば、「楽団員とほかに何かできないか」と尋ねてこられます」

6月のコンサートへの思いを訊いた。

「指揮者がいないことで、自分たちの音楽にすべての責任を負い、自分たちから音楽を作り、一つにまとめられていく…そういう楽団員の積極性も感じとれるコンサートになると確信しています」

(文 道下京子)

[ヴァイオリン&コンサートマスター]フォルクハルト・シュトイデ
[管弦楽]広島交響楽団

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77
ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 op.92

2023.6/11(日) 2:00PM開演 1/26(木) 先行 2/6(月) 一般
5,000円(全席指定・税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニーホール チケットセンター 06-6453-2333
[主催]公益社団法人 広島交響楽協会/ザ・シンフォニーホール

チケット発売後5月31日(水)までに当コンサートのことをご自身のFacebook、Twitter等でご紹介いただいた方にはチケット料金が1,000円引き！
下記アドレスまで投稿されたSNSのURL情報を送付後、お電話にてチケットをお申込ください！
▶▶info@hirokyo.or.jp (広響大阪公演宛)

※広響事務局(082-532-3080)のみでの対応です。

COLUMN

創立60周年を迎える広島交響楽団

広島にはクラシック音楽を愛好する人々が戦前から多くいました。1963年に発足した「広島市民交響楽団」は、音楽を愛する市民によって作られた楽団です。それから7年後に「広島交響楽団」となり、72年にはプロ改組。中四国で最も長い歴史を持つプロ・オーケストラとして、国際平和都市・広島を拠

点に活動しています。1993年には大阪と東京で初めて公演をおこないました。さらに、「Music for peace～音楽で平和を」をスローガンに音楽を通して世界へ平和を発信しています。近年では、2019年8月にポーランドの「ショパンと彼のヨーロッパ音楽祭」に招かれ、注目を集めました。

広島交響楽団

第432回定期演奏会 大阪公演

創立60周年“繋ぐ”

広島交響楽団は、2023年に創立60周年を迎える。

近年の広響のプログラムはかなり挑戦的で、全国的にも人気急上昇中だ。

日本中の音楽ファンから注目される広響が、

6月にザ・シンフォニーホールで特別演奏会を開催する。

広響のこの演奏会は指揮者を置かず、

ウィーン・フィルのコンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデ氏がコンサートマスターを務め、全てをリードする夢のようなコンサート。

同楽団の事務局長 井形健児氏に話を聞いた。



〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール

ソワレ・シンフォニー
Vol.21&Vol.22

ソワレ・シンフォニー10年目突入！2023年度ラインナップ決定！

ヴァイオリン 川久保賜紀

指揮 松本宗利音

指揮 大植英次

Vol.22



©Yuji Hori

Vol.22



©大阪交響楽団

Vol.21



©飯島 隆

【Vol.21】2023/5/31(水) 7:00PM

【指揮】大植英次

シューベルト:交響曲 第7番 短調 D.759「未完成」/
ショスタコーヴィチ:交響曲 第5番 二短調 op.47「革命」
先行予約:1/26(木) 一般発売:2/1(水)※Sinfonia先行予約は、ザ・シンフォニー チケットセン
ターまでお問い合わせください。

【Vol.22】2023/11/29(水) 7:00PM

【指揮】松本宗利音

【ヴァイオリン】川久保賜紀

ブラームス:大学祝典序曲 op.80/ブルッフ:ヴァイオリン
協奏曲 第1番 短調 op.26/ドヴォルザーク:交響曲 第
8番 ト長調 op.88

一般発売:7/26(水)

【管弦楽】大阪フィルハーモニー交響楽団

全席指定 A 5,100円 B 3,100円 (税込)

※大阪フィル・チケットセンター、他プレイガイドでは

【Vol.21】1/31(火)【Vol.22】7/25(火)一般発売

【お問い合わせ】大阪フィル・チケットセンター

06-6656-4890

【主催】大阪フィルハーモニー協会/

ザ・シンフォニーホール

2014年からスタートし、今年で10年目に突入する『ソワレ・シンフォニー』。「ソワレ」とは、フランス語で「夜会」。平日の夜、仕事帰りの方にも、とっておきの名曲、素敵な演奏を楽しんでもらいたい」という大阪フィルとザ・シンフォニーホールの想いから誕生したシリーズ企画だ。

ちなみに2014年4月に開催された第1回目は、高関 健の指揮で、ウェーバーの歌劇「魔弾の射手」序曲、マーラーの交響曲第1番「巨人」という充実の組み合わせで好評を博した。気軽に楽しんでもらいたい」ともうひとつのテーマのもと、当初は1時間の演奏会として行われていたことも懐かしい（現在は約2時間のコンサート）。

シリーズは回を重ねるごとに進化し続け、多くのクラシックファンに愛され続ける名曲プログラム、指揮者とソリストの絶妙なタッグがクラシック音楽ファンから注目され、人気を博してきた。

そんなソワレ・シンフォニーの2023年度シリーズが決定！5月（Vol. 21）は、大植英次が出演し、大阪フィルとの強固なタッグでシューベルトの交響曲第7番「未完成」、ショスタコーヴィツの交響曲第5番を演奏。熱演に期待が高まる。

11月（Vol. 22）は、ソワレ初登場となる、次世代を担う若きマエストロ 松本宗利音とヴァイオリン 川久保賜紀が登場。大阪フィルとともにブラームス、ブルッフ、ドヴォルザークという、濃密なプログラムが繰り広げられるので、こちらも楽しみにしたい。

ザ・シンフォニーホール特別演奏会

メンデルスゾーン・チクルス
～メンデルスゾーンへの旅

全4回！大阪フィルの作曲家シリーズ決定！



©飯島 隆

管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団



指揮 尾高忠明

【I】2023/6/8(木) 7:00PM

【ヴァイオリン】アラベラ・美歩・シュタインバッハー

序曲「静かな海と楽しい航海」op.27/ヴァイオリン協奏曲 小短調 op.64 ほか
一般発売:3/15(水)

【II】2023/8/25(金) 7:00PM

【ピアノ】務川慧悟

交響曲 第5番 二長調 op.107「宗教改革」/ピアノ協奏曲 第1番 短調 op.25 ほか
一般発売:5/31(水)

【III】2023/11/9(木) 7:00PM

【ピアノ】河村尚子

序曲「フィンガルの洞窟」op.26/ピアノ協奏曲 第2番 二短調 op.40 ほか
一般発売:7/26(水)

【IV】2024.2/15(木) 7:00PM

【ソプラノ】盛田麻央・隠岐彩夏 【テノール】吉田浩之 【合唱】大阪フィルハーモニー合唱団

序曲「ルイ・プラス」op.95/交響曲 第2番 変ロ長調 op.52「讃歌」

一般発売:11/29(水)

【指揮】尾高忠明 【管弦楽】大阪フィルハーモニー交響楽団

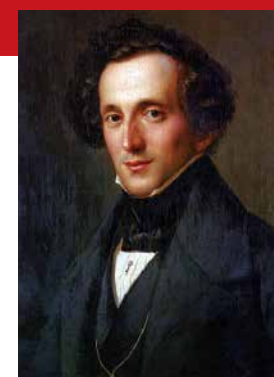
全席指定 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 (税込) ※大阪フィル・チケットセン
ター、他プレイガイドでは【I】3/14(火)【II】5/30(火)【III】7/25(火)【IV】11/28(火)一
般発売

Aセット16,000円 Bセット13,000円 (税込)

★セット券は2/28(火)一般発売。大阪フィル・チケットセンターでのみのお取り扱い。

【お問い合わせ】大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

【主催】大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール

ヤーコプ・ルートヴィヒ・フェーリクス・
メンデルスゾーン・バルトルディ
(1809-1847)

ドイツ・ロマン派の作曲家であり、指揮者、ピアニスト、オルガニスト。幼少期から優れた音楽の才能を示し、早熟の天才と呼ばれた。「ヴァイオリン協奏曲」「夏の夜の夢」「フィンガルの洞窟」「無言歌集」など今日でも広く知られる数々の作品を生み出し、またパッサの音楽の復興、ライプツィヒ音楽院の設立によって音楽界へ大きな影響を与えた。

2022年は、音楽の宝石箱と題して「フランス音楽」をテーマに演奏会を行い、カラフルでまさに宝石のような煌めきに満ちた名曲の魅力を感じた尾高忠明×大阪フィル。今年はメンデルスゾーンを取り上げ、全4回のチクルスを行う。

ヴァイオリン、ピアノコンチェルト、交響曲「讃歌」、序曲「フィンガルの洞窟」「ルイ・プラス」他、各公演豪華ソリストを迎えてメンデルスゾーンの偉さを孕み美しい旋律の数々を体感できる好機会！是非お見逃しなく！



演奏家としてはもちろん女性としての生き方も尊敬
——皆さんそれぞれ個性の違う人気ピアニストですが、松田さんにとって上原さんと福間さんはどんな先輩ですか？

松田 上原さんは私がロシアに渡った2002年に、ちょうどチャイコフスキー国際コンクールで優勝されたばかりで、当時私はまだ6歳だったので、その凄さはその後じわじわと伝わってきました。本当にロシア作品といえば上原さんですし、演奏家としてはもちろん女性としての生き方も尊敬しています。福間さんとは、10月に初めて共演をさせていただきました。

福間 松田さんのことは以前から「天才少女のイメージで拝見しておりました。今回もロシアの名門音楽学校の伝統に培われたふくよかなラフマニノフに期待しています。一方、上原さんとは年齢も近い

上原 そんなこともありましたが？（笑）。でも福間さんとはその後パリ留学時代に現地で大変お世話になりました。彼は何にでも積極的にトライして道を自分で切り開くタイプで、いざという時、特に外国ではとても頼もしい人。いつも真っ直ぐで、音楽とも真摯に向き合う。今でもお互いに刺激を与え合う大切な存在です。また松田さんとは同じ高松出身という共通点に加えて、ロシアと



のですが、僕が高2の時に浜松国際ピアノアカデミーで初めて会った頃、既に彼女はスターでした。アカデミーでは最後にコンクールがあって、本選でピアノ伴奏によるラフマニノフの《バガニニの主題による狂詩曲》を初めて弾くという上原さんのために練習相手を買って出たことも、今となっては良い思い出です。あの時、見事グラプリを受賞されたんですね。

上原 そんなこともありましたが？（笑）。でも福間さんとはその後パリ留学時代に現地で大変お世話になりました。彼は何にでも積極的にトライして道を自分で切り開くタイプで、いざという時、特に外国ではとても頼もしい人。いつも真っ直ぐで、音楽とも真摯に向き合う。今でもお互いに刺激を与え合う大切な存在です。また松田さんとは同じ高松出身という共通点に加えて、ロシアと

という繋がりもある。初対面の時にロシア語がとても上手で羨ましかった（笑）。若いという背伸びしたがるのにそういうところがなく、周りに左右されることなく素直に自分を音楽に出せるところが素敵だと思います。

松田 そうですね、過去の偉大な演奏家による名演や名盤で溢れた有名な曲です。いつも心がけているのは、ラフマニノフが主役となるような演奏です。ロシアで長く過ごして感じたどこか土の匂いのするような温かくて広い心、深い愛情のようなものを紡ぎ出せたらと考えています。《交響曲第1番》の酷評によるスランプから脱する糸口となった曲でもあるので、ポジティブな力強さも感じていただけたら嬉しいです。



福間 確かにコンクールの本選な

[ピアノ] 松田華音、福間洸太郎、上原彩子 [指揮] 現田茂夫
[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

《オール・ラフマニノフ・プログラム》

ピアノ協奏曲 第2番 短調 op.18 (松田華音) ピアノ協奏曲 第3番 短調 op.30 (福間洸太郎)
ピアノ協奏曲 第4番 短調 op.40 (上原彩子)

2023.7/29(土) 2:00PM

全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニーホール チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 1/21(土) 一般発売: 1/22(日)

でもよく弾かれ、ピアノ協奏曲の王様のような作品ですね。『第2番』と比較するとオーケストラが圧倒的に充実していて作品としての完成度も高い。それだけにピアノが独りよがりにならないように、オーケストラとのバランスをしっかりと保つことが大切だと思います。そしてテクニックだけでなく、40代に足を踏み入れたばかりの今の自分にしか出せない、これまでの経験に裏打ちされた人間味溢れる演奏に力を注ぎたい。演奏会でまだ1度くらいしか弾いたことがないので、今からワクワクしています。

上原 初めて弾くのでまだわからないことだらけです。『第2番』はピアノとオーケストラが塊×塊で対峙しているかんじで、それが『第3番』になるとそれぞれが線になつて絡んできて、『第4番』ではそれがもっと盛んに絡み合うイメージでしょうか。違うメロディ、違う和声、違うリズム同士が響き合う。『第2番』『第3番』に比べると自分らしさをアピールするより、全体としてより音楽的な高みを目指したいと思っています。どうかお楽しみに！

(取材:文 東端哲也)

ラフマニノフ生誕150周年記念 熱狂コンチェルト 2023

豪華協演3人のピアニストによるスペシャルインタビュー

Interview

7月、人気シリーズ「熱狂コンチェルト」に生誕150年を迎える大作曲家ラフマニノフが登場。20世紀最大のヴィルトーゾ・ピアニストでもあり、その殆どがピアノのために書かれている彼の作品から、3つの傑作を名手3人がお届けする。

上原彩子 × 松田華音 × 福間洸太郎



撮影: 鈴木久美子



「メンバーは全員、自分のオケやバンドを持っているリーダー格ばかり。そんなトッププレイヤーたちの組み合わせで、どれだけ多彩な味わいを引き出せるか考えて結成しました」とは、TSHB結成時の菊池の言葉。以来、ジャズに止まらない様々な音楽ジャンルを取り上げ、初回より豪華なゲストソリスト(川井郁子、古澤巖、押尾コータローなど)と共演してきた彼ら。さらに21年と22年にはゲストソリストなしでも動員を増やすなど、着実にファンを増やしている。

「タンゴには、一度魅了されると虜になってしまうほど、魔法のようなものがあります。今回はタンゴの名曲の数々をTSHBの

[演奏] The Symphony Hall Big Band
[ゲスト] 川波幸恵 (バンドネオン)
リベルタンゴ／ラ・クンパルシータ／想いの届く日／ジェラシー／ボル・ウナ・カベサ／アディオス・ノニーノ／夜のタンゴ／小さな喫茶店／オブリビオン／真珠探りのタンゴ ほか
2023.3/12(日) 2:00PM
全席指定 7,500円(税込)
[お問い合わせ] 大阪アートエージェンシー
06-6372-4583
[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

(文 渡辺謙太郎)

華麗かつ迫力満点の演奏で、タンゴの魅力が何倍にも増幅されて届く！

タンゴはまさに喜怒哀楽のジェットコースター

スウィングするリズムやシンコペーションを基調に、複雑で、多彩な即興を繰り広げるジャズ。この魅力的な音楽ジャンルと、ザ・シンフォニーホールの相性の良さが抜群なことは、当シリーズが長年に渡って証明し続けてきたと言える。

名トランペット奏者・菊池寿人が中心となり、2016年に結成された総勢16名のジャズ・バンド、The Symphony Hall Big Band(以下TSHB)が、早いもので19回目の公演を行う！

ているのは本当に凄い。

そして、今回のテーマに選ばれたのが「タンゴ」で、予定演目は、ウルグアイのロドリゲスが残したタンゴの金字塔「ラ・クンパルシータ」や、アルセンチンの鬼才ピアソラの傑作として名高い「リベルタンゴ」「アディオス・ノニーノ」など。郷愁的なメロディと情熱的なリズムを特長とするこの音楽ジャンルも、TSHBによって華麗かつしなやかに演奏されることで魅力は何倍にも増幅し、新たな品質が随所で発掘されるはずだ。

今回はまた、ゲストソリストとしてバンドネオンの川波幸恵が登場。アメリカのチェ・バンドネオン世界大会の初代優勝者である彼女は、自身がモデルの小説のドラマ化に際して本人役で出演するなど幅広い活躍で知られる才媛。そんな川波は、タンゴの魅力と今回の公演に向けた抱負を次のように語っており、期待はますます高まる!!



バンドネオン 川波幸恵

皆様と奏でられて、とても嬉しいです。タンゴは3時間のオペラを3分間に濃縮したような音楽だ、と言われるほど、まさに喜怒哀楽のジェットコースター。人生の酸いも甘いも3分の間に収めているような熱量の塊で、心が動かされる音楽だと思っています。華やかな管楽器とバンドネオンの音色が融合するこの大きなステージは、私にとって、バンドネオン奏者になって良かった！と思わせてくださる舞台です。皆様にお会いできることを楽しみにしています」——川波幸恵

三浦一馬 五重奏団 PIAZZOLLA Standards & Beyond

ピアノ 山中惇史

三浦一馬 & 山中惇史 スペシャルインタビュー [後編]

Interview



バンドネオン 三浦一馬

新しいピアソラ像を
披露したい

生誕100年に没後30年と2年にわたるアニヴァーサリー・イヤーを経て、今年もアストル・ピアソラを知り尽くしたバンドネオン奏者・三浦一馬の新たな挑戦が続く。2月のステージではピアソラの愛した五重奏団(キンテート)編成で登場。『盟友』でもあるピアノの名手・山中惇史も参加する。

——三浦さんは12月に、スタンダードな名曲とピアソラらしい革新的な要素を含んだ選曲の最新アルバムをリリースされたばかり。五重奏団での録音盤は以前にもありましたよね？

三浦…前回はホール録音だったのに対して、今回はスタジオ録音でした。メンバーは10年以上コンサートを共に重ねてきた仲間、特に石田さん(石田泰尚)とは自分が高校生の頃から長い付き合い。ある意味あの人以上に、存在感のあるヴァイオリニストはいません！4人でも6人でもない、5人という完璧なこの編成の中心人物として、ツアーでも頼りにしています。

——今回の公演もさらに強力なメンバーになりました

ね。山中さんといえばソロでももちろん、ピアノ・デュオを始め、サクソフォンを交えたトリオや歌手との共演など、様々なアンサンブルで魅力を発揮されています。

山中…僕個人の感覚としては、どんな相手とこ一緒にしても自分のスタンスは同じ。でも今回のような五重奏は初めてで知らないことだらけ、かなりのチャレンジになります。三浦さんと一緒に深めていく楽しみがあります。

三浦…ピアノはキンテートでも『要』となる楽器です。弦楽アンサンブルとバンドネオンという組み合わせもいいけれど、何か物足りなさを感じたときに、低音から高音までカヴァーして強靱なリズムも作れるピアノが加わった瞬間に、ああこれだ！って(笑)。

——選曲も「天使のミロンガ」に「悪魔のロマンス」と天使×悪魔の対決などが素敵です。「ミケランジェロ70」はどんな曲ですか？

三浦…『ピアソライズム』に溢れていて、3分くらいの短い曲で疾走感が凄い。そしてメラメラと燃えるような楽器同士の緊張感に溢れたやりとりも聴きどころです。

——「天使のイントロダクション」



は？
三浦…天使シリーズの第一曲で、序章。コントラバスとギターのユニゾン、ペーラインに導かれたミステリアスで妖しげな雰囲気、一体何が始まるんだろう…ってところからだんだん気持ちが高ぶって物語が動き出すので、ご期待を！

山中…聴き込んでいるファンの方にも、新しいピアソラ像を披露したいと思います。

三浦…ぜひ、しっかりと見届けていただきたいです！

(取材・文 東端哲也)

[バンドネオン] 三浦一馬 [ヴァイオリン] 石田泰尚
[コントラバス] 高橋洋太 [ギター] 大坪純平
[ピアノ] 山中惇史

悪魔のロマンス／ミケランジェロ70／天使のイントロダクション／
天使のミロンガ ほか

2023.2/4(土) 7:00PM
全席指定 5,500円(税込)

[お問い合わせ] Mitt 03-6265-3201
[主催] 日本コロムビア／ザ・シンフォニーホール

発売中



ピアノ 谷 昂 登



ピアノ 桑原志織

特級

feat. 阪田知樹

グランド・コンチェルト

「特級って何？」という方もいるだろう。全日本ピアノ指導者協会（ピティナPTNA※）が毎年開催するピティナ・ピアノコンペティションの最上位カテゴリー。過去の上位入賞者たちが顔を揃える協奏曲三昧のコンサートが昨年に続き大阪で開催される。

2011年にその特級でグランプリを受賞したのが阪田知樹。「高校3年生でした。最近では中学生ですでに協奏曲を弾いたというピアニストも少なくないですが、当時の僕は、オーケストラとの初共演がこのコンクールでした。リストの協奏曲第1番。周囲からは、協奏曲を初めて弾くのがコンクールなんて、大丈夫なのか？と心配されましたが、意外にリラックスして弾けました。その後のキャリアのきっかけにもなった、貴重な機会だったと思っています」

5月のコンサートはグリーグ、シューマン、ラフマニノフの協奏曲が並ぶ豪華プログラム。コンサート自体もまさに、特級だ。

「1日のうちに協奏曲を3曲、別々のピアニストで聴けてしまう。特別なコンサートですね。曲目同士のつながりもあるんです。ま



ず、グリーグの協奏曲はシューマンの協奏曲を下敷きになっていると考えることができます。イ短調という調性の選択はもちろん、構造上も影響がある。そしてラフマニノフの協奏曲第1番にはグリーグとの類似が見られます。グリーグの協奏曲の、最も有名な冒頭の下行モティーフ。ラフマニノフの冒頭部分は明らかにそれに影響を受けていると思われます」

阪田が弾くのはそのラフマニノフの協奏曲第1番。演奏機会の少ないレアな作品だ。

「僕も初めて。ずっと、いつか弾きたいなと思っていました。2023年はラフマニノフの生誕150年ですが、記念イヤーといっても、やはり協奏曲第2番や第3番、あるいはバガニニ狂詩曲に人気が集まっているので、この曲を演奏するのは意義深いと思います。ラフマニノフのロシア的な抒

[ピアノ] 谷 昂登、桑原志織、阪田知樹
[指揮] 藤岡幸夫 [管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団

グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調 op.16 (谷 昂登)
シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調 op.54 (桑原志織)
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第1番 嬰ヘ短調 op.1 (阪田知樹)

2023.5/3(水・祝) 2:00PM

全席指定 S6,000円 A5,000円 B4,000円 学生3,500円 (税込)

[お問い合わせ] 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 03-3944-1583

[主催] 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会/ザ・シンフォニーホール

発売中

(文 宮本 明)

協奏曲の名曲三昧の午後、3人のピアニストが贈る特別公演！

「特級って何？」という方もいるだろう。全日本ピアノ指導者協会（ピティナPTNA※）が毎年開催するピティナ・ピアノコンペティションの最上位カテゴリー。過去の上位入賞者たちが顔を揃える協奏曲三昧のコンサートが昨年に続き大阪で開催される。

2011年にその特級でグランプリを受賞したのが阪田知樹。「高校3年生でした。最近では中学生ですでに協奏曲を弾いたというピアニストも少なくないですが、当時の僕は、オーケストラとの初共演がこのコンクールでした。リストの協奏曲第1番。周囲からは、協奏曲を初めて弾くのがコンクールなんて、大丈夫なのか？と心配されましたが、意外にリラックスして弾けました。その後のキャリアのきっかけにもなった、貴重な機会だったと思っています」

5月のコンサートはグリーグ、シューマン、ラフマニノフの協奏曲が並ぶ豪華プログラム。コンサート自体もまさに、特級だ。

「1日のうちに協奏曲を3曲、別々のピアニストで聴けてしまう。特別なコンサートですね。曲目同士のつながりもあるんです。ま

ず、グリーグの協奏曲はシューマンの協奏曲を下敷きになっていると考えることができます。イ短調という調性の選択はもちろん、構造上も影響がある。そしてラフマニノフの協奏曲第1番にはグリーグとの類似が見られます。グリーグの協奏曲の、最も有名な冒頭の下行モティーフ。ラフマニノフの冒頭部分は明らかにそれに影響を受けていると思われます」

阪田が弾くのはそのラフマニノフの協奏曲第1番。演奏機会の少ないレアな作品だ。

「僕も初めて。ずっと、いつか弾きたいなと思っていました。2023年はラフマニノフの生誕150年ですが、記念イヤーといっても、やはり協奏曲第2番や第3番、あるいはバガニニ狂詩曲に人気が集まっているので、この曲を演奏するのは意義深いと思います。ラフマニノフのロシア的な抒

情性が強く出ている作品。とてもロマンティックで、一度聴いたら絶対好きになってもらえるという自信があります。作品1ですが、第2番、第3番の後に大幅に改訂しているので、演奏技術の面から見ても、事実上3番目の協奏曲なんです。

久しぶりのザ・シンフォニーホール。オーケストラのサウンドとピアノの音色が理想的にマッチした豊かな響きに満足していただけたと思います。僕も楽しみです」

※PianoTeachers' National Association of Japan



名器ストラディヴァリウスを手元に希代のエンターティナーとして、多くのファンを魅了してきたヴァイオリンの川井郁子。ザ・シンフォニーホールでは、これまで2月の「バレンタイン・コンサート」に定期的に出演し、その甘美な音色と情熱的な演奏スタイルで、大阪の聴衆を沸かせてきたのはご存じのとおりだ。2023年は、この恒例の演奏会が、装いも新たに「ドラマティック・コンサート」と題して開催される。

今回は、和洋オーケストラ「響」とのコラボレーションを披露するのも大きな話題になっている。「響」は、川井自らがデビュー20周年を記念して2022年に設立した東西の楽器の若手奏者による混合オーケストラ。和太鼓、尺八、篠笛、能管、琵琶などの和楽器も含まれており、川井がそうしたメ



幅広い層へ訴求する多彩な世界を切り開いてきた、

ンバーたちとどのような対話を展開するか、興味はつきない。通常のオーケストラ・サウンドも聞きたいという聴衆のために、洋楽器のみの編成も用意され、1度のコンサートで多種多様な演奏を堪能できる、文字通り「二度美味しい」機会になることだろう。

今回は耳だけではなく、眼にも鮮やかな趣向になる予定である。ホールには葛飾北斎の浮世絵や日本舞踊などのクリアで美しい映像が映し出されるといことで、お客様には、五感をフルに研ぎ澄ませて体験する特別な時間が訪れる。ザ・シンフォニーホールが、ドラマティックなエネルギーに満ちた空間となる瞬間を目撃できるのではないだろうか。

プログラムは、「夕顔」源氏物語より「展覧会の絵」日本の情景」など、日本の新たな美意識を呼び覚ますような曲、人気のピアノ「リベルタンゴ」に加えて、フィギュアスケーターの羽生結弦氏がソチ・オリンピックのエキシビションで用いた話題の「ホワイト・レジェンド」白鳥の湖」も取り上げる予定だ。さらに「麒麟が来る」など川井ならではのユニークなラインナップも嬉しいかぎり。戦国時代を舞台に繰り広げられた2020年大河ドラマの「麒麟が来る」の音楽に、川井も

[ヴァイオリン] 川井郁子 [オーケストラ] オーケストラ響～ひびき～

ホワイトレジェンド～白鳥の湖より～/夕顔～源氏物語より～/プレリュードとアレグロ
/展覧会の絵～日本の情景～/哀しみのグラツィア/インスティンクト・ラブソフィー
/時の彼方に/さくら/リボーン/ジュビター/赤い月/波の記憶/NHK大河ドラマより「麒麟がくる」ほか ※予定曲目

2023.3/21(火・祝) 3:00PM

全席指定 S 6,500円 A 5,000円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

参加していた。壮麗なドラマの記憶を蘇らせるような演奏が期待される。

川井のコンサートは、わくわくさせてくれるような意外性や発見に満ち、そして彼女ならではの華やかさのあるステージだ。クラシックをベースにしながらも、幅広い層へ訴求する多彩な世界を切り開いてきた、革新的で時代の先端をゆくアーティスト。東西の楽器が出会うことによる「化学反応」が生まれ、瑞々しい価値観にもとづく異世界へと広がってくれるコンサートになるにちがいない。

(文 伊藤 制子)



8歳(1950年)よみうりホールで初のリサイタル

堤 剛 80歳からの出発 「生涯一チェリストとして 芸術文化に貢献したい」

うと感じて『これをやる』と言っちゃったんです」
縁にも恵まれた。東京音楽学校(今の東京藝術大学)出身の母が、音楽仲間から「親が教えちゃだめよ」と言われて紹介された相手は、チェロ奏者、指揮者、教育者として名高い齋藤秀雄。「僕は当時8歳。東京まで1時間も汽車に乗れることがうれしくて、気楽に先生の前でブラームスの子守

齋藤秀雄先生に学ぶ

唄を弾いたら、この子はなんとかなると思ってたのだとか、お許しが出ました。ずっと緊張していた母の様子を覚えています」
戦後の焼け跡が残る東京には、西洋音楽を広めたい、技術を高めたいという機運が高まっていた。齋藤秀雄、ピアノの井口基成、音楽評論家の吉田秀和らが、「子供のた

めの音楽教室」を開設。毎週末、堤もチェロのレッスンと、音楽教室での聴音や合奏練習に明け暮れた。同じ門下生にはピアノの中村紘子ら。「みんな遊びに来ている感じで、チャンバラしたりかくれんぼしたり、悪ガキでした。『ペー トーヴェンのお父さんは厳しかったんだよ』と先生が話すと、僕はすかさず手を挙げて『僕のお父さんも厳しいです』と返す、そんな楽しいクラスでした。大先生たちが日本の音楽界を盛んにしようと渾身の力を込めて教えてくださいました」と振り返る。

「演奏と教育は両輪」

8歳でリサイタル、11歳で東京フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会にソリストデビュー、15歳で毎日音楽コンクール(現日本音楽コンクール)第1位と輝かしい少年期を送り、世界へ飛び出した。アメリカ・インディアナ大学で巨匠ヤーノ・シュ・シュタルケルに師事し、ミュンヘン国際コンクール第2位、カザルス国際コンクール第1位。世界中に活躍の場を広げるなかで、教育にも力を注いだ。「大演奏家のシュタルケル先生が、演奏と教育の両方がないと自分は満足できない、教育は人の輪を広げるのだと仰っていました。なるほどと思いました。私も音楽会が近づくと思ってきました。私も音楽



インディアナ大学教授時代、シュタルケル先生のご自宅でのパーティーで仲間と共に。

教えることは自分の責任・使命として疎かにしてはいけない。私にとっても演奏と教えることは両輪です」

人の輪を広げて

2022年夏、サントリーホールに50人近いチェリストが集まり「堤剛80歳記念コンサート」が開かれた。プログラムには、堤が大切にしてきた日本人作曲家の作品が並んだ。

「あなたはなぜ日本の曲を弾かないのか」。堤が欧米で演奏活動を始めた当初、現地の聴衆からそう言われたという。以来、多くの邦人作曲家に新曲を委嘱してきた。

今回の記念リサイタルにあたり、妻の春恵が権代敦彦に委嘱し、『無

[チェロ]堤 剛 [ピアノ]河村尚子

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 op.102-1
R.シュトラウス：チェロ・ソナタ ヘ長調 op.6
権代敦彦：無伴奏チェロのための「Z」 ゼータ op.186 (2022) ~堤春恵委嘱作品~
プロコフィエフ：チェロ・ソナタ ハ長調 op.119
マルティヌー：ロッシェニの主題による変奏曲 H.290

2023.4/30(日) 2:00PM

全席指定 S7,000円 A5,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

伴奏チェロのための「Z」ゼータ」が生まれた。「チェロの可能性を広げるような作品です。お客さんにも楽しんでいただけたら」と語り、「ザ・シンフォニーホールの特別な響きの中で、河村尚子さんという素晴らしいピアニストと一緒させていただくのが本当に楽しみ」と目を細める。

「私は80歳を出発点と捉えています。これから一チェリストとして、音楽を通して創造、芸術の世界に貢献したいと願っています」
ペテランが奏でるみずみずしい音楽と幸福感に満ちた祝祭空間をともに味わいたい。

(取材・文 出水奈美)



Interview

Tsuyoshi TSUTSUMI 80th Anniversary Tour

撮影：井上英祐

タフで謙虚、情熱の人

奏でる音楽は気品にあふれ、立ち居振る舞いは常に謙虚な人である。堤剛は演奏家と教育者の顔を持ちながら、現在も東京・サントリーホール館長、日本チェロ協会理事長などの要職に就いている。このインタビュの日も「実は昨日ベルリンから帰国したばかりなんです。フォイアマン大賞という国際チェロコンクールの審査委員長を務めてきました」と言うが、疲れた顔を決して見せず、終始笑顔浮かべていた。そういう人柄を慕って、人々の輪が自然に広がっていったのだろう。

運命的なチェロとの出会い

1942年7月、音楽家の両親のもとに生まれた。小学校にあがる前からスズキ・メソッドでヴァイオリンのレッスンを受けており、チェロとの出会いは運命的だった。

「コントラバス奏者の父が、懇意にしていた楽器屋さんで『息子さんにこれ弾かせてみない?』と薦められ、戦後初めて製作された2分の1サイズのチェロを神奈川県藤沢市の自宅に持って帰ってきました。ヴァイオリンとチェロは基本的にテクニクが同じなので、わりとすらすら弾けちゃって。子ども心に音色や響き、自分の体にもチェロの方が合

The Symphony Hall

関西4オーケストラ

年始号恒例! 関西4オーケストラのマエストロよりメッセージをいただきました!

2023 New Season Message

新シーズンのプログラムとともに紹介します!

大阪フィルハーモニー交響楽団

音楽監督
尾高忠明

©Martin Richardson

指揮者からのメッセージ

新年あけましておめでとうございます。2023年、大阪フィルのザ・シンフォニーホールでのスタートは在阪4オーケストラによる開館40年記念コンサートシリーズ最終回(1月29日)から。「私の敬愛する」R.シュトラウス「英雄の生涯」でお祝いしたいと思います。また6月からは『メンデルスゾーン・チクルス』が始まります。メンデルスゾーンの作品はどの曲も美しく、ひとつひとつの音の質の高さが求められます。音楽監督として6季目のシーズンも大阪フィルとさらなる高みを目指していきたいと思います。

ここがポイント

2023年は特別演奏会「メンデルスゾーン・チクルス」と、定番の「マチネ・シンフォニー」「ソレ・シンフォニー」、三つのシーズンを予定しています。「マチネ」には当団が誇るふたりのコンサートマスター、崔文洙(4月)と須山暢大(10月)がソリストとして登場。指揮は井上道義(4月)と齊藤一郎(11月)。強い個性、オーラを放つマエストロと対峙する百戦錬磨のコンマス陣、注目の競演です!

<名曲シリーズ>平日午後の名曲セレクション マチネ・シンフォニーVol.29
4/6(木) [指揮]井上道義 [ヴァイオリン]崔文洙
ハイドン:交響曲 第103番 変ホ長調 Hobl.103[太鼓連打]/ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 op.77/ショスタコーヴィチ:バレエ組曲[黄金時代] op.22a

<名曲シリーズ>大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソレ・シンフォニーVol.21
5/31(水) [指揮]大植英次
シューベルト:交響曲 第7番 ロ短調 D759[未完成]/ショスタコーヴィチ:交響曲 第5番 ニ短調 op.47[革命]

ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルス〜メンデルスゾーンへの旅(I)
6/8(木) [指揮]尾高忠明 [ヴァイオリン]アラベラ・美歩・シュタインバッハー
序曲「静かな海と楽しい航海」op.27/ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 op.64/交響曲 第1番 ハ短調 op.11

ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルス〜メンデルスゾーンへの旅(II)
8/25(金) [指揮]尾高忠明 [ピアノ]務川慧悟
交響曲 第5番 ニ長調 op.107[原稿改訂]/ピアノ協奏曲 第1番 ト短調 op.25/交響曲 第4番 イ長調 op.90[イタリヤ]

<名曲シリーズ>平日午後の名曲セレクション マチネ・シンフォニーVol.30
11/1(水) [指揮]齊藤一郎 [ヴァイオリン]須山暢大
ロッシニ:歌劇「泥棒かきでせむ」序曲/サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ op.28/バレンスไตน์:「キャンティード」序曲/R.ロジャース/ミュージカル「南太平洋」より「魅惑の音」/ウィリアムズ:映画「シンドラ」のリストより テーマ/ワグナー:歌劇「タンホイザー」序曲 ほか

ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルス〜メンデルスゾーンへの旅(III)
11/9(木) [指揮]尾高忠明 [ピアノ]河村尚子
序曲「フィンガルの洞窟」op.26/ピアノ協奏曲 第2番 ニ短調 op.40/交響曲 第3番 イ短調 op.56[スコットランド]

<名曲シリーズ>大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソレ・シンフォニーVol.22
11/29(水) [指揮]松本宗利香 [ヴァイオリン]川久保陽紀
ブラームス:大学祝典序曲 op.80/ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 op.26/ドヴォルザーク:交響曲 第8番 ト長調 op.88

ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルス〜メンデルスゾーンへの旅(IV)
2024.2/15(木) [指揮]尾高忠明 [ソプラノ]盛田麻央・隠岐彩夏 [テノール]吉田浩之
[合唱]大阪フィルハーモニー合唱団
序曲「ルイ・ブラス」op.95/交響曲 第2番 変ロ長調 op.52[讃歌]

公演お問い合わせ
大阪フィル・チケットセンター 06-6566-4890 <https://www.osaka-phil.com>

大阪交響楽団

常任指揮者
山下一史

©ai ueda

指揮者からのメッセージ

新年あけましておめでとうございます。我々3人の指揮者陣の2年目のシーズンは、私のR.シュトラウス+ブラームスプロ〜津田裕也さんとのブルレスケ、清水和音さんとのブラームスの第2協奏曲、お二人の素晴らしいソリストを迎えることが出来て幸せです。高橋さんの今年のテーマは「音楽と美術」、「画家マティス」楽しみです。柴田さんのラヴェルの「子供と呪文」を中心としたフランス・プログラム。そして名誉指揮者の外山先生にはフランクの二短調交響曲を指揮していただきます。客演指揮者のプログラムも含めて、是非1年通してお聴き頂きたいプログラムです。2年目はシンフォニーホールの素晴らしい響きのもとで、オーケストラと共に更なる「深化」を目指します。

ここがポイント

常任指揮者・山下一史は「ドイツ・ロマン派の世界」で昨年の「英雄の生涯」から一転、小規模編成の曲目を繊細に創り上げます。ミュージックパートナー・柴田真都によるオペラ・演奏会形式シリーズ第2弾はラヴェルの「子供と呪文」。言葉と音楽の融合を是非、体感してください。首席客演指揮者・高橋直史は「音楽と美術」をテーマに絵画に関連したプログラムをお楽しみください。さらに定期演奏会ではフランス音楽も多く取り入れ、幅広い演奏曲目をお届けいたします。

第263回定期演奏会 [指揮]山下一史 [ピアノ]津田裕也
5/12(金) R.シュトラウス:メタモルフォーゼン(23の独奏独奏楽器のための習作)/R.シュトラウス:ブルレスケ/ブラームス:交響曲 第4番 ホ短調 op.98

第264回定期演奏会 [指揮]外山雄三
6/9(金) シューベルト:交響曲 第5番 変ロ長調 D485/フランク:交響曲 ニ短調

第265回定期演奏会 [指揮]高橋直史 [ヴァイオリン]森下幸路 [ピアノ]杉浦由奈
8/9(水) メンデルスゾーン:序曲「フィンガルの洞窟」op.26/レーガー:「ベックリンによる4つの音詩」op.128より第1曲「ヴァイオリンを弾く聴者」/リスト:死の舞踏/ヘンデミット:交響曲「画家マティス」

第266回定期演奏会 [指揮]デリック・イノウエ [ヴァイオリン]竹澤恭子
[ソプラノ]高橋絵理 [合唱]大阪響コーラス [合唱指揮]中村貴志
9/28(木) イベール:交響組曲「奇想曲」(3つの交響的絵画)/ラロスベイン:交響曲「ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ短調 op.21」/フランク:グロリア

第267回定期演奏会 [指揮]オーラ・ルードナー [ピアノ]マリオ・ヘリン
11/30(木) プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 op.26/チャイコフスキー:交響曲 第6番 ロ短調 op.74[悲境]

第268回定期演奏会 [指揮]原田慶太楼 [ヴァイオリン]ステラ・チェン
2024.1/31(水) 林 光(NHK 大河ドラマ) 国盗り物語(1973年)/花神(1977年)/山河燃ゆ(1984年)/コルンゴルト:ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 op.35/吉松 隆:交響曲 第4番 op.82(2000年)

第269回定期演奏会 [指揮]柴田真都 [メソソプラノ]協団 彩、十合翔子、山下裕賢
[ソプラノ]鈴木玲奈、三村浩美 [テノール]佐原孝弥
[バリトン]井出壮志朗 [バス]湯浅貴斗
[児童合唱]堺市青少年少女合唱団・堺リブズハーモニー
[合唱]大阪響コーラス [合唱指揮]中村貴志
2024.2/17(土) デュカス:交響詩「魔法使いの弟子」/ラヴェル:マ・メール・ロワ/ラヴェル:歌劇「子供と呪文」※演奏会形式 原語(フランス語) 上演(日本語字幕付き)

第270回定期演奏会 [指揮]山下一史 [ピアノ]清水和音
2024.3/8(金) ブラームス:セレナード 第1番 ニ長調 op.11/ブラームス:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.83

公演お問い合わせ
大阪交響楽団 072-226-5522 <http://sym.jp>

2023-2024の「名曲コンサート」の公演情報は下記より
<https://sym.jp/pages/676/#page-content>

関西フィルハーモニー管弦楽団

首席指揮者
藤岡幸夫

©SHIN YAMAGISHI

指揮者からのメッセージ

新年明けましておめでとうございます。今年も日本が世界に誇るザ・シンフォニーホールで、数々の演奏会の舞台に立てることを心より楽しみにしております!また、この素晴らしいホールに、現役指揮者では最多出演をさせて頂いている事を誇りに思っております。私とは24年目のシーズンになる関西フィルは、今年も様々な素晴らしい指揮者の方々と熱いパフォーマンスを繰り広げます!私も3回の定期演奏会の他、毎年恒例のサマーポップス、クリスマスファンタジアなど今からとても楽しみです。皆様のご来場をお待ちしております!

ここがポイント

2023シーズンはA.デュメイの圧倒的ソロを堪能できる演出が目白押し。藤岡幸夫は英国の気品あふれる名作たちに平和への祈りを込める。マエストロという言葉以上の大きな存在である飯守泰次郎は、激しくも温もりに満ちたブルックナーを。そして最大の話題は、関西フィルの新たな地平を切り拓く新首席客演指揮者・鈴木優人の就任。就任披露演奏会でのブラームス、そして《第九》が待ち遠しい。

第336回定期演奏会 [指揮]藤岡幸夫 [チェロ]長谷川陽子
4/29(土・祝) 田中カレン/ローズ・アブソリュート/田中カレン/アーバン・プレイヤーズ(都会の祈り)〜チェロとオーケストラのための/ヴォーン・ウィリアムズ:交響曲 第5番 ニ長調

第337回定期演奏会 [指揮]マニエール・ヴィクトワール・デュメイ
5/19(金) モーツァルト:ヴァイオリンとヴァイオンのための協奏交響曲 変ホ長調 K.364/ブラームス:交響曲 第4番 ホ短調 op.98

第338回定期演奏会 [指揮]原田慶太楼 [ヴァイオリン]服部百音
6/16(金) ヴェルディ:歌劇「運命の力」序曲/フジリ・サイ:ヴァイオリン協奏曲「ハーレムの千一夜」/吉松 隆:交響曲 第3番 op.75

第339回定期演奏会 [指揮]藤岡幸夫 [ソプラノ]並河寿美 [テノール]村上敬明
[ボーイ・ソプラノ]マックス・トーマス
[合唱]関西フィルハーモニー合唱団
7/15(土) エルガー:エニグマ 変奏曲 op.36/アンドリュウ・ロイド・ウェッバー:レクイエム

第340回定期演奏会 [指揮]マニエール・ヴィクトワール・デュメイ
9/13(水) モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 K.527/ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216/ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 op.95[新世界より]

第341回定期演奏会 [指揮]藤岡幸夫 [ピアノ]角野肇斗
10/27(金) モーツァルト:ピアノ協奏曲 第26番 ニ長調 K.537[戴冠式]/エルガー:交響曲 第1番 変イ長調 op.55

第342回定期演奏会 [指揮]オーボエ・アレクセイ・オグリンチュク
[ヴァイオリン]オーギュスタン・デュメイ
11/18(土) J.S.バッハ:オーボエとヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV.1060a/ベルグ:ヴァイオリン協奏曲/メンデルスゾーン:交響曲 第3番 イ短調 op.56[スコットランド]

第343回定期演奏会 [指揮]高岡健 [ピアノ]奥井紫麻
2024.2/23(金・祝) ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18/プロコフィエフ:交響曲 第5番 変ロ長調 op.100

第344回定期演奏会 [指揮]飯守泰次郎
2024.3/29(金) ブルックナー:交響曲 第5番 変ロ長調(ノーヴァク版)

公演お問い合わせ
関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911 <https://www.kansaiphil.jp>

日本センチュリー交響楽団

首席指揮者
飯森範親

©山岸 伸

指揮者からのメッセージ

あけましておめでとうございます。日本センチュリー交響楽団が誇る美しい響きを皆様へ、そして音楽を通して心に届く安らぎを…私自身、こんな思いで活動して参りたいと思っております。そろそろザ・シンフォニーホールでのハイドンマラソンもゴールが見えてきました。また6月にはパシフィックフィルハーモニア東京との合同演奏会では『アルプス交響曲』などなど、魅力的なプログラムをお届けいたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ここがポイント

2023-24シーズンは期待が膨らむラインナップが出揃いました!定期演奏会では、3名の指揮者陣のほか、気鋭の指揮者・出口大地と多才な活躍が光る鈴木優人が登壇。人気と実力を兼ね備えた勢いのある若手ソリストの面々、そして世界的チェリストのA. メネセスの出演も楽しみです。パシフィックフィルハーモニア東京とのオーケストラ・アライアンスの提携など来シーズンも挑戦を続けるセンチュリーに、どうぞご期待ください!

第272回定期演奏会 [指揮] 秋山和慶 [ピアノ] 小林愛実
4/20(木) モーツァルト:ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K. 271[ジュノム]/ベートーヴェン(近衛秀喜編曲):交響曲 第3番 変ホ長調 op.55 [英雄]

第273回定期演奏会 [指揮]出口大地 [ピアノ]務川慧悟
5/26(金) プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.16/ドヴォルザーク:交響曲 第6番 ニ長調 op.60 B. 112 イベール:ディヴェルティメント

第274回定期演奏会 [指揮]飯森範親 [ピアノ]角野肇斗
6/10(土) アダムス:Must the Devil Have All the Good Tunes?/R.シュトラウス:アルプス交響曲 op.64

第275回定期演奏会 [指揮]飯森範親 [ヴァイオリン]神尾真由子 [ピアノ]高橋優介
9/22(金) カンチャレ:タンゴの代わり/ヴォイマン:ヴァイオリン協奏曲 第1番/カンチャレ:弦楽オーケストラ、ピアノとパーカッションのための[SIO]/シベリウス:交響曲 第7番 ハ長調 op.105

第276回定期演奏会 [指揮]久石 譲 [ヴィオラ]ナディア・シロタ
10/13(金) シューマン:交響曲 第4番 ニ短調 op.120/久石 譲:Viola Saga/ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調 op.67 [運命]

第277回定期演奏会 [指揮]秋山和慶 [チェロ]アン・ニコ・メネセス [ヴァイオリン]須田祥子
11/24(金) ベートーヴェン:交響曲 第4番 変ロ長調 op.60/R.シュトラウス:交響詩「ドン・キホーテ」op.35

第278回定期演奏会 [指揮]飯森範親 [ヴァイオリン]三浦文彰
2024.1/12(金) ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 op.77/ブルックナー:交響曲 第3番 ニ短調 WAB 103[ワグナー](1878年ノヴァク版第1稿)

第279回定期演奏会 [指揮]久石 譲
2024.2/9(金) ドビュッシー:交響詩「海」/ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲「展覧会の絵」ドビュッシー:小組曲

第280回定期演奏会 [指揮]鈴木優人 [チェロ]宮田 大
2024.3/15(金) メシアン:忘れられた捧げもの/矢代秋雄:チェロ協奏曲/サン＝サーンス:交響曲 第3番 ハ短調 op.78[オルガン付き]

公演お問い合わせ
センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311 <https://www.century-orchestra.jp>

2023-2024の「ハイドンマラソン」の公演情報は下記より
<https://www.century-orchestra.jp/topics/century-season-line-up2023-24/>



ラデク・バボラーク…世界最高峰のホルン奏者がザ・シンフォニーホールの舞台にやってくる!



自身が設立したチェコ・シンフォニーエツタを始め、水戸室内管、サイトウ・キネンなどで指揮者としても活躍する天才音楽家。20

指揮者バボラークと 山形交響楽団が育んだ友情

日本代表の躍進に熱狂した2022年サッカーワールドカップ。呼吸をするように自然体で技を繰り出す世界のスーパースターたちの美技に圧倒されながら、世界で最も難しいといわれるホルンと戯れるように美を奏でるラデク・バボラークのライブを思い出した。18歳で世界最難関といわれるミュンヘン国際コンクールで優勝。チェコフィル、ミュンヘンフィル、ベルリンフィルのソロ・ホルン奏者を歴任。小澤征爾や世界の巨匠からの厚い信頼、世界のメジャー楽団と共演を続ける、完璧で歌に溢れた世界最高のホルン奏者バボラーク。『The Best of Music World』とカラヤンが評したザ・シンフォニーホール。天才が奏でるモーツァルトのホルン協奏曲は、まるで天上のような美しさで響くだろう。

スメタナ、ドヴォルザーク… 祖国チェコへの愛が いっぱい詰まった プログラム

祖国が危機に陥った時、伝説の戦士たちが立ち上がり輝かしい栄光をもたらす伝説を描いた「プラニーク」。連作交響詩「わが祖国」全6曲中、スメタナの祖国チェコでは特別な作品だ。ドヴォルザークの傑作と共に、チェコを愛するバボラークのメッセージが伝わる正に一期一会のプログラム。

21年からは祖国チェコの西ボヘミア交響楽団の首席指揮者に就任している。山形交響楽団(以下・山響)との初共演は2016年。「音楽的な引き出しが無数にあり、まるでヨーロッパのような美しい響きを山響から引き出した」と楽団員と聴衆から絶賛を博したバボラークは2018年から3年間山響の首席客演指揮者を務めた。実は、山形とバボラークは深い絆で結ばれている。彼の日本デビューは1995年。山形県で開催された「世界ホルンフェスティバル」だったのだ。以来、山形はバボラークにとって日本の故郷ともいえる土地となった。深い友情に結ばれた両者による大阪公演は2018年以来となる。

「さくらんぼコンサート」恒例!
来場者全員へ山形県産
「さくらんぼ」プレゼント!

昨年、創立50周年を迎えた山形交響楽団。地域と一体となったユニークな活動が魅力の同楽団。「さくらんぼコンサート」大阪公演では恒例となった来場者全員に山形県東根市産の「さくらんぼ」プレゼントはもちろん今回も実施される。本公演の風物詩「山形物産展」も、開催を予定している。新時代を見据える山響は、世界と山形を結ぶ新たなVISIONを描く。

「さくらんぼコンサート大阪公演」を機に、バボラークも愛する山形を旅してみたい?



さくらんぼコンサート2023 大阪公演

[指揮・ホルン] ラデク・バボラーク

スメタナ: 連作交響詩「わが祖国」第6曲「プラニーク」
モーツァルト: ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447
ドニゼッティ: ホルン協奏曲 へ長調
ドヴォルザーク: 交響曲 第8番 ト長調 作品88

2023.6/23(金) 7:00PM 一般発売: 1/30(月)

S 5,100円 A 4,100円 B 3,100円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 山響チケットサービス 023-616-6607

[主催] 公益社団法人 山形交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール

山形交響楽団映像配信のご案内

クラシック専門 ライブストリーミングプラットフォーム
「CURTAIN CALL」

<https://curtaincall.media/yamaky>

山形交響楽団公式 YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/c/YamagataSymphonyOrchestra>

